

【資料編】

- 平成 26 年度市民意識調査結果（一部抜粋）
- 平成 27 年度行政内部評価施策体系と担当部一覽
- 平成 27 年度実施事業評価結果一覽

平成 26 年度市民意識調査結果（一部抜粋）

以下に、平成 26 年度市民意識調査結果報告書の内容のうち、平成 27 年度行政外部評価で参考にした部分を一部抜粋、編集して掲載します。

1 調査目的

社会情勢の変化を把握するとともに、行政評価の参考資料とするため、第 3 次鎌倉市総合計画第 3 期基本計画（以下、「基本計画」）の 51 の「施策の方針」および 3 つの「計画の推進に向けた考え方」について、市の取組に対する「認知度」、市民が感じている費用対効果の「妥当性」、市民ニーズ、重要度の主に 4 点を調査しました。

2 対象

平成 27 年 3 月 1 日現在、鎌倉市在住の 18 歳以上の市民のうち、無作為抽出した 2,000 人を対象としました。

3 回収率

約 30%

4 結果

(1) お金の使い方について

54 の「施策の方針等」について、それぞれ「平成 26 年度の主な事業」及び「かかる経費」を示した上で、お金の使い方を尋ねました。結果は、図 1～2 のとおりです。

(2) 重要度について

施策間の重要度については、「重要である」と思うもの、「重要でない」と思うものをそれぞれ 5 つずつ挙げていただき、その数により、市民の皆様の施策間の重要度の傾向を測りました。結果は、図 3～4 のとおりです。

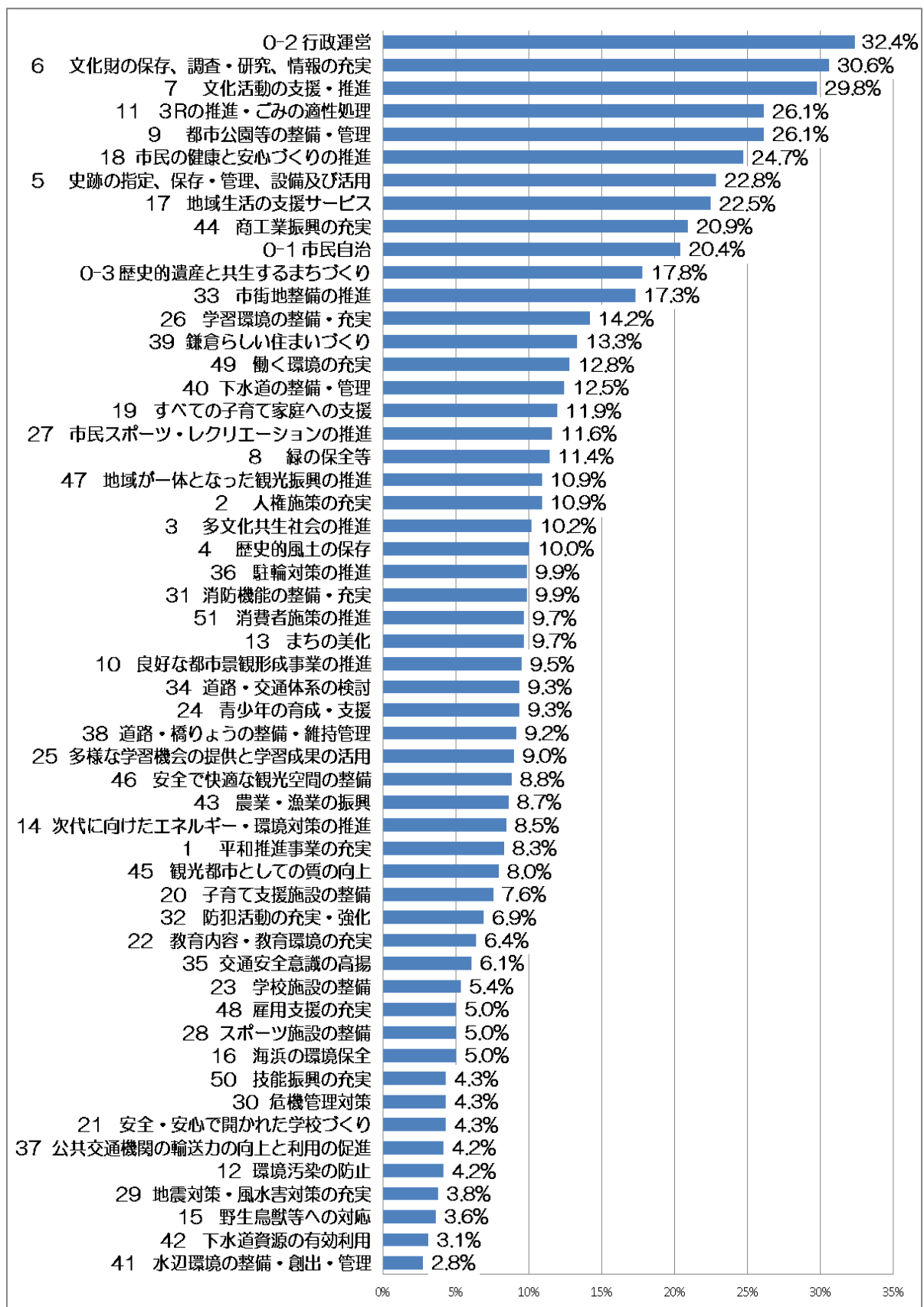


図1 「お金の使い方」のうち「使いすぎ」の回答率

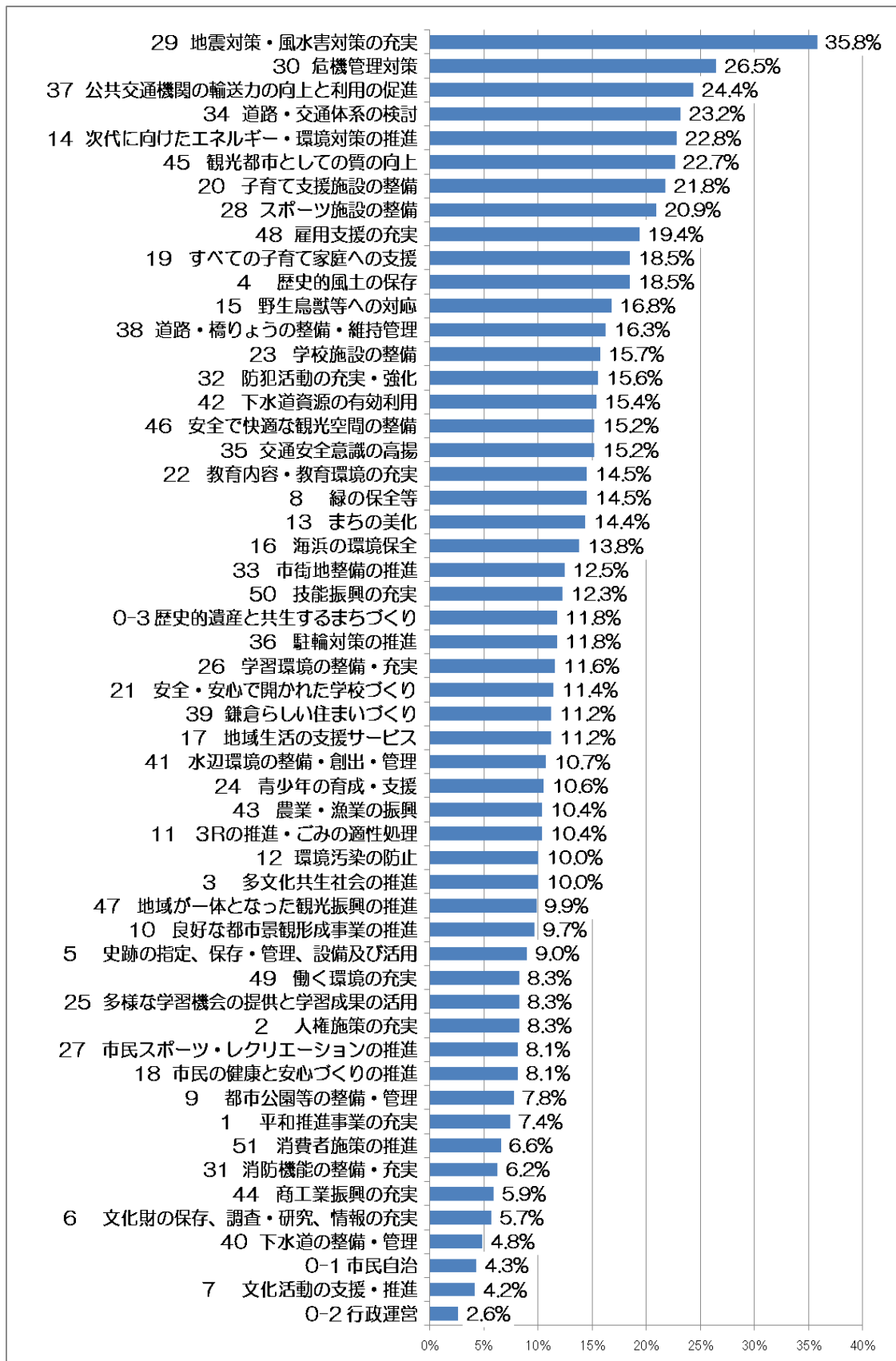


図2 「お金の使い方」のうち「足りない」の回答率

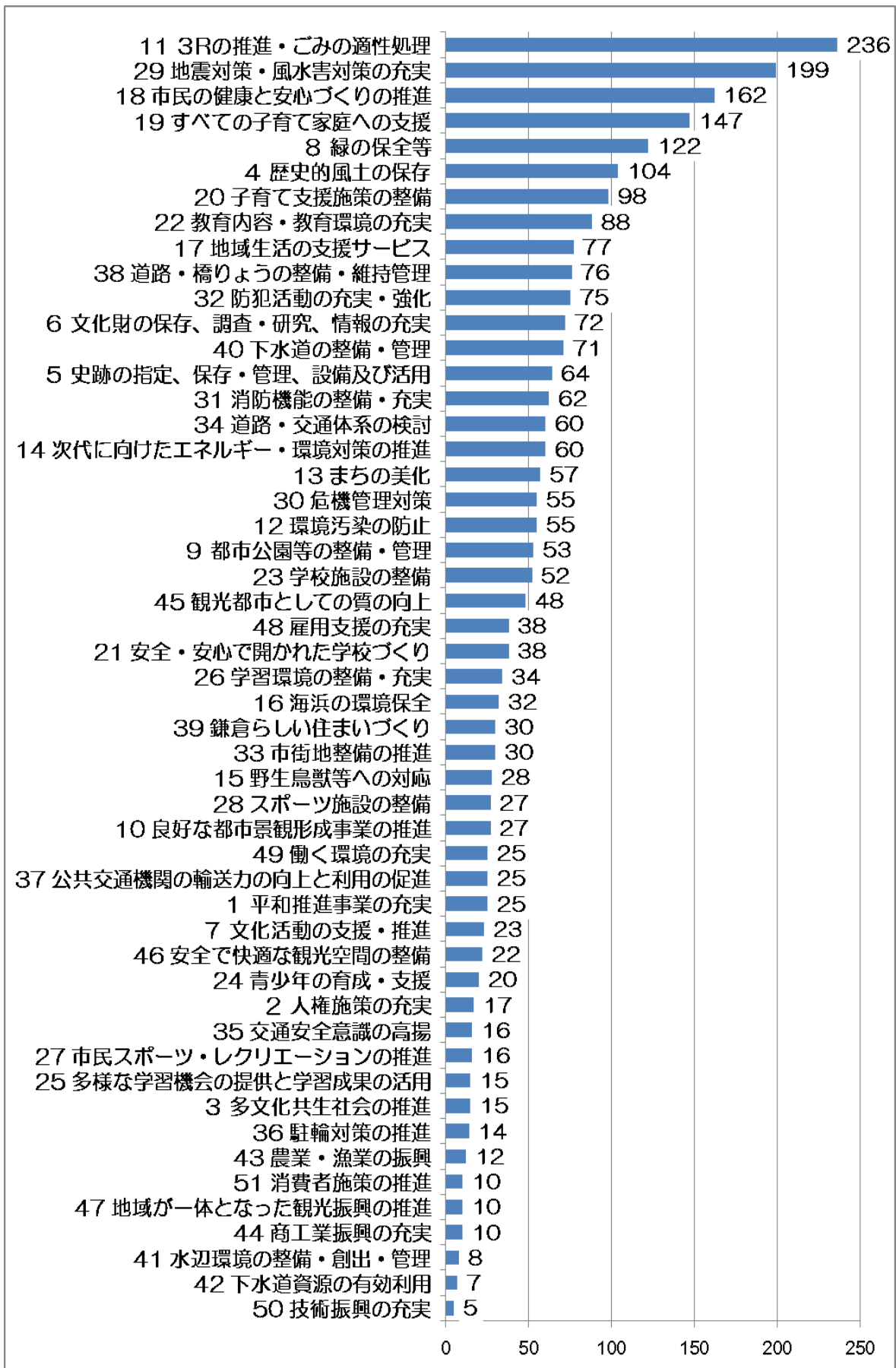


図3 「重要であると思うもの」の回答数

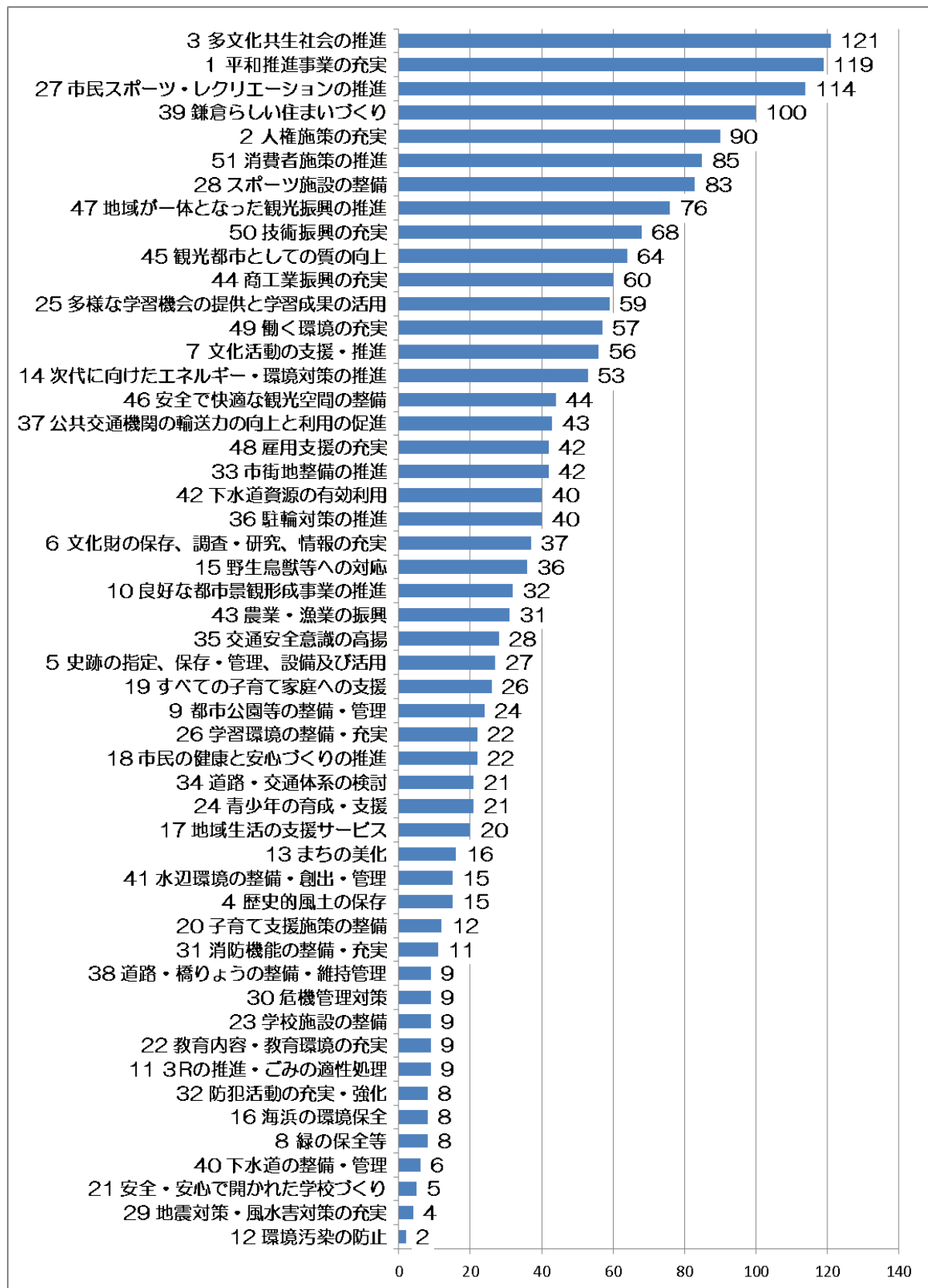


図4 「重要でないと思うもの」の回答数